



かなやま

ふるさとを愛し、
自信と誇りをもち
未来を拓く子どもの育成

学力・心力
体力・労力

今回の学校だよりは、11月の全校朝会、クサクク訪問団来校、保小中合同芋ほり、校花について、よかねえ佐賀弁です。

文責 校長 杠

三瀬中の当たり前を大切に!!

佐賀市教育委員会学校訪問、
早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクト早稲田大学出前講座
連日、たくさんのお客様が来校されました。

11月6日(水)佐賀市教育委員会学校訪問がありました。佐賀県教育委員会のへき地・辺地小・中学校巡回訪問が兼ねられていたため、16名もの先生方が訪問されました。生徒たちはいつもどおり。これだけの先生方が訪問されても、いつもどおりの活動ができる生徒たちは本当に素晴らしいと思いました。生徒たちの授業や活動の様子を見られ、皆さんからはたくさんのお褒めの言葉をいただきました。「生徒たちが授業に集中し、活発に学び、学びを楽しんでいるように感じる」とのお言葉は、とても嬉しかったです。先生方が書いてくださった言葉は、8日(金)の新入学説明会で小学部の6年生に、11日(月)の全校朝会で全校生徒に紹介しました。その後、校長室前廊下に掲示しています。来校された際はぜひ御覧ください。その中に、「もしかしたら、みんなは当たり前だと思っているかもしれないけれど、仲間と自然に会話しながら学んでいる姿は、とても美しかったです」という言葉がありました。これまでも、三瀬中の当たり前は、最強の当たり前であるということを話してきました。こつこつと当たり前のことを当たり前に行っていくことの尊さ。三瀬中の当たり前を美しいと言ってくくださったということを機会に、さらに三瀬中の当たり前を磨いてほしいと思います。

また、11日(月)に早稲田大学から出前授業に来ていただきました。白い粉の正体を解き明かす授業でしたが、生徒たちは休み時間も探究を続け、時間が足りないほど集中して取り組んでいました。この授業で学んだ「自ら問いを立て、探究する姿勢」をこれからも持ち続けてほしいと思います。

人と人との繋がりに感謝!!

フランスクサクク訪問団来校、
保小中合同芋掘り
たくさんの方々のお陰で続けることができています。

クサクク訪問団来校

今年は5年ぶりにクサククからの訪問団が来校されました。10月28日(月)は、三瀬校全校合唱を披露したり、生徒会が考えたゲームをしたりと、一日中大いに中学校での生活を楽しみました。書道や剣道でも交流し、有意義な一日となりました。三瀬中では受け入れまでに、フランス語学研修を2回開催しました。言葉の壁を越え芽生えた交流は、何ものにも代えがたい経験となりました。きっと将来、三瀬の子どもたちが、たくさんたくさん世界に大きく羽ばいていってくれるはずですよ。

保小中芋掘り

10月31日(木)に、三瀬校全児童生徒と三瀬保育園の年長児で、恒例の芋掘りを行いました。例年より少し遅い芋掘りでしたので、PTA整備部の皆さんには例年以上の御協力をいただきました。子どもたちは、芋を傷つけないように!と、丁寧に丁寧に掘り起こしていました。両手ほどもある芋もたくさん収穫でき、みんなで秋の収穫の喜びを味わうことができました。

お知らせ 明日の「ふれあい祭り」でサツマイモの販売を行います。昨年は1時間余りで売り切れてしまいました。2Kg 500円です。

みなさん、どうぞ三瀬Farm産のサツマイモを御賞味ください。

三瀬中学校 校花「シュンラン」(春蘭)について ●30年前の先輩たちの思いに触れ、思いを新たに引き継ぎたいものです。

●校章の花は「シュンラン」

校章をよく見て見ると、「中」の文字を支えるように花があしらわれています。この花は何の花か御存じでしょうか。校章の花は「シュンラン」です。スクールカレンダーでも紹介されています。しかし、新しい校旗がはためくのを見ていて、なぜシュンランなのだろうという疑問が沸き上がってきました。調べてみました。すると、平成8年5月2日に「校花制定式」が開かれていることが分かりました。「春蘭」。葉は線形で細長く、花は直立し花茎の先に1個だけつけます。唯一無二の存在として、真っすぐに立つ姿は、まさに三瀬中学校の生徒として目指す姿と重なります。近年は数が減ってしまったそうですが、以前は村内各所に群生し、多くの人たちに愛され大切にされていたそうです。シュンランは、名前のおり春を告げる花です。11月に入り、朝の気温が1桁という日が続いています。これから三瀬は、厳しい冬を迎えます。この冬を越えて春がやってきた時、ぜひ真っすぐに立つシュンランを見つけてみてください。



●三瀬中学校の歴史の中で…… 「校花制定式」平成8年5月2日の全文を紹介します。

シュンランは、昭和22年、三瀬中学校の開設とともに制定された校章に取り入れられています。その後、50年の長い歴史のなかで、校旗とともに、三瀬中学校を見守り続けてきました。ここに、私たちは、私たちを見守り続けてくれた、白くて可憐なシュンランを校花に制定することにより、いつまでもこの花を大切にします。そして、愛校精神のより一層の高揚とシュンランの花言葉である「自分の心に正直に」を目指し、社会に貢献できる心豊かな人になりたいと思います。

保護者様の中には、28年前の「校花制定式」に出席された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。皆様の中学校時代のことなど、御家庭でぜひ話題にされてみてください。お願いいたします。

手記

「たんでいがーたんでい」、宮古島で「ありがとう」を意味する方言です。「んみゃ〜ち、宮古島！」と歓迎をしてくださいました。宮古島では「ん」で始まる言葉がたくさんあって、しりとりにならないと言われていました。「かなやまNo.13」で岡山大会で感じたことを書かせていただきましたが、今回は、10月23日から3日間、九州地区へき地・小規模校教育研究大会沖縄(宮古島)大会に参加させていただいたことを書きたいと思います。九州大会には運営側で参加しました。12月まで半袖の宮古島は、まだまだ連日の夏日。登壇する日はスーツ、しかし運営時はクールビズもしくはかりゆしウエアで、との願いがありました。沖縄で関わるならと、さっそくかりゆしウエアを購入し参加しました。大会スローガンは、『美ら島 沖縄・宮古島からの発信! 結の心とふるさとへの誇りを持ち 主体的に未来を切り拓く人間性豊かな子どもの育成』。「美ら島」「結の心」、その言葉の響きは沖縄を意味し、その上、とても美しく温かみを感じることが出来ます。佐賀で開催するとしたら、どんな言葉がいいだろうとあれこれ考えました。バルーン、吉野ヶ里遺跡、有田焼、棚田と表紙の写真もどこを撮っても美しそうです。そのようなことに考えを巡らせるのも、とても楽しかったです。

さて、私が伺った中学校は全校生徒50人、体験活動は4月から9月までに14回、保護者様も一体となって歓迎してくださいました。三瀬中と大きく重なり親近感を感じずにいられませんでした。参観した授業は特設全体特別活動「地域の未来に向けて私たちにできること〜分村150周年を迎える今〜」を考える全校生徒での特別活動でした。全校生徒で交流する学習は三瀬中でも、とても活発に行っています。しかし、1時間の授業全てを生徒が主導し、探究し、提案としてまとめていく。先生方の全体指導が一度もなかったことに、まずもって脱帽しました。そして、「この意見を職員会議に提案します」との最後の言葉に、2度驚かされました。まさに主体的に「問い」をもち、生徒自身で探究する姿がありました。と同時に、これは三瀬中でもできる!との思いが湧き上がってくるのも感じました。生徒が自分たちがしたいことを、確実な根拠と目的をもって、大人に提案することができる力。この力を育成するために、私自身もっともっと勉強したいと思いました。

また、シンガーソングライター 下地イサムさんの、「『足りない』を楽しむ人生」と題した記念講演にはただただ感動しました。全て宮古島の方言で歌を歌われるので、意味は全く分からないのに心に響く歌と言葉。ずっと聴いていたいと思いました。生徒たちの提案に、方言を使おう。あいさつを方言でしよう。方言劇を創作しよう。と方言を宝として大切にしていかなければという意識が次々に出てきている意味を知りました。少し視線を上げてみると、新鮮な学びがたくさんありました。もっともっと知りたいと思います。そして、三瀬の子どもたちに、その学びを返していきたいと思います。大変長くなり失礼しました。

よかねえ 佐賀弁

今号は「や」で始まる言葉です。「や」で始まる佐賀弁が、たくさんあることに驚きました。

- ① やーらしか ② やいちらかす ③ やぐらしか ④ やっけん ⑤ やらじゃーこて
⑥ やらじゃーこて ⑦ やらじゃーこて ⑧ やらじゃーこて ⑨ やらじゃーこて ⑩ やらじゃーこて

次号は、職場体験学習、花苗植え、三瀬村少年の主張大会、ふれあい祭りを掲載する予定です。